

【公表】事業所の放課後等デイサービス評価

事業所名: ふくろう広場IWAMOTO

公開年月日: 2025年3月17日

		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	5	1	0		
2	職員の配置数は適切であるか	5	0	1		基準は満たしているが、時間によっては手薄になる事もある。
3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	1	3		施設内段差が多く車椅子での対応は不可能。 車椅子のお子様を受け入れる時には見直しが必要。
4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く社員が参画しているか	2	4	0		ミーティングなどで、支援内容等の話し合いをするが、全ての子に対しては出来ない。
5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	3	0		
6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	1	1		
7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3	2		
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1	0		
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	2	0		
10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2	0		
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	2	2		問題のある子を優先して行うため、全ての子には当てはまらない。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	2	0	週ごとにリーダーを変えることで、活動内容を固定化しないようにしている。	
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	1	1	夏休みなどの長期休暇には、1人ずつ課題を決めて行っている。	
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	2	1	個別に対応が必要な時は、全体活動から離れ別室で対応している。	
15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	2	1	朝から児童のお子様が多く、出勤職員が集まり打ち合わせの時間な取りにくい。事前に職員の負担当を決めることで、自分の役割や活動内容を伝えやすくしている。また、必要な時は都度話をする。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか	1	3	2		送迎後にそれぞれ保護者からの話や活動中の様子などを話すか、全ての職員では無い。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	2	1		日々の記録はとっているが、職員によって内容が薄く、全員の記録が適正では無いことも。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	2	0		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4	2	0		
20	障害児童相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	2	0		
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	2	0		
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医などと連絡体制を整えているか	0	2	4		
23	就学前に利用していた保健所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	3	2		必要なお子様には対応しているが、全ての子では無い。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	0	6	0		
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0	4	2	センター以外の関係機関との連携は有り。	
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	3	2	図書館やお出かけなど。	
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0	3	3		
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	2	0		
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	3	2	1	ペアレントトレーニングの時間としてはとってはいないが、保護者に対して必要な時は送迎時や電話等で話をする。	
30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1	0		
31	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	2	0		
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	5	0		
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	3	0		
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	1	2		
35	個人情報に十分注意しているか	6	0	0		
36	障害のある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	2	0		
37	事業者の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2	2	秋祭りなど大きな行事の時は、ポスターを作成して地域の方へお伝えしている。	
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	3	1		
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	2	1	保護者には契約時に説明をしている。	
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	2	0		

41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	1	0		
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2	0		
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	2	0		ヒヤリハットの用紙は作っているが、進んで活用はされていない。